



Q

どんなお仕事をされていますか？

職業はグラフィックデザイナーで、ワインやアイスクリームのパッケージのイラストを描いたり、飲食店の暖簾や幟、会社のロゴをデザインさせていただいています。ポスターやパンフのような紙媒体もありますね。最上地域ですともがみ観光博の際に地域マップのデザインもさせていたでいて、最近では地元金山町のオリジナルTシャツとか米袋のデザインも手がけたり

今みたいにパソコンもない何にもないって時代でしたから、本当に悩みましたよ。まだ23歳でしたから。でも、いつかは両親を見るために戻ることになるんだろうし、自分の絵やデザインを良いて言ってくれる人がいるんだから、どこへ行ったって「何とかなるだろう」って思っちゃったんです(笑)。

一度きりの人生だし、これは無理だとか言って諦めないで「やってやれないことは無い」って思っただけで、誰だって案外何とかなるもんなんですよ(笑)。

庄司美紀子さん (昭和43年、金山町生まれ。)

デザイン事務所Seal代表。
 専門学校を経て仙台市のデザインプロダクションへ就職するものの、実家を継ぐため地元に戻る。
 デザインに価値が見出されていなかった時期の最上地域でたった23歳で起業に踏み切ったパイオニア。
 現在は自宅兼事務所で多方面の広告デザインを手掛けている。

Q

美紀子さんの性格は？

へこみやすいです(笑)。地元に戻って来た時はまだ若かったこともありますが、「どうせ出来ね」とか「そのうち辞める」とか言われたことに「やっせって何だ？」って思ったんですけど、よくへこみましたね。グラフィックデザイナーって肩書だけで「かっこつけて…」っていう取られ方をされてしまっただけで、「そんなつもりじゃないのになあ…」ってことがいっぱいありました。でも、やってやれないことはないし自分言いついて聞かせて、そういう周囲の風当たりを、自分なりの糧にしようと思っただけです。そういう意味では、負けず嫌いなんだと思います。「一回きりの人生だし」っていう開き直りも大事ですよ(笑)。

Q

リラックス方法は？

みんなでワイワイお酒を飲んだり、カラオケに行ったりするのも好きですね。自宅での仕事なので、オンとオフの区別がありません。でも私の場合、家業が農業で、酒米やユカリ栽培の作業もしていますので、その手伝いをしてデスクワークとはまた違った作業ができるのもいいかもしれませんね。どちらの仕事も自宅ワークですので、子どもたちに仕事をして頑張っている姿を見せられたっていう意味でも良かったなあと思っています。

Q

将来の夢や目標は？

絵はずっと描いていきたいと思ってます。仕事として色々描かせていただく作品はオファーくださった企業さんのためですので、今後は自分のために、絵や書道の作品を描いたりできればいいなあと思っています。もう少し歳をとって、仕事も一段落する時には、自分が描きたい絵を描きたいです。

それと、息子が私と同じく絵を描くのが好きで、「将来はデザインの仕事をやってみたい」と思っているみたい。いつか一緒に仕事ができる日が来るのかなあなんて思ったり。「大変なんだぞ、甘いもんじゃない」と言いながらも嬉しかったですね。

あと、仕事を続けていくにも「今の時代に合ったもの」のニーズに合わせるように、日頃から色々なものを意識して見て、デザイン書籍、流行の漫画やお菓子、同業者さんの作品などで時代感を磨いていくとか、そういう勉